

科目名	実習Ⅱ-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	180	作成者	酒井知可子
【科目の到達目標】 レディースウェアの基本アイテムであるジャケット(チャック柄テーラードカラー・ショールカラー)、コート(ラグランスリーブ・フライフロント)、カットソー、部分縫いにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。			
【科目の概要】 ファッション業界において商品企画する為に洋服の構造理解することは不可欠である。企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1・2	部分縫い 箱ポケット	1・2	カットソーパターン
3・4	部分縫い ファスナーポケット	3・4	カットソー裁断
5・6	部分縫い 雨蓋ポケット	5・6	カットソー縫製
7・8	ショールカラーのジャケットの製図	7・8	カットソー縫製
9・10	ショールカラーのジャケットの裁断	9・10	チェックテーラードジャケット製図
11・12	ショールカラーのジャケットの縫製	11・12	チェックテーラードジャケット縫い代付け
13・14	ショールカラーのジャケットの縫製	13・14	チェックテーラードジャケット裁断
15・16	ショールカラーのジャケットの縫製	15・16	チェックテーラードジャケット裁断
17・18	ショールカラーのジャケットの縫製	17・18	チェックテーラードジャケット縫製
19・20	ショールカラーのジャケットの縫製	19・20	チェックテーラードジャケット縫製
21・22	ショールカラーのジャケットの縫製	21・22	チェックテーラードジャケット縫製
23・24	部分縫い 薄物始末	23・24	チェックテーラードジャケット縫製
25・26	部分縫い 薄物始末	25・26	チェックテーラードジャケット縫製
27・28	ショールカラーのジャケットの縫製	27・28	チェックテーラードジャケット縫製
29・30	ショールカラーのジャケットの縫製	29・30	チェックテーラードジャケット縫製
		31・32	チェックテーラードジャケット縫製
		33・34	チェックテーラードジャケット縫製
		35・36	ラグランスリーブのコートの製図
		37・38	ラグランスリーブのコートの製図
		39・40	ラグランスリーブのコートの裁断
		41・42	ラグランスリーブのコートの裁断
		43・44	ラグランスリーブのコートの縫製
		45・46	ラグランスリーブのコートの縫製
		47・48	ラグランスリーブのコートの縫製
		49・50	ラグランスリーブのコートの縫製
		51・52	ラグランスリーブのコートの縫製
		53・54	ラグランスリーブのコートの縫製
		55・56	ラグランスリーブのコートの縫製
		57・58	ラグランスリーブのコートの縫製
		59・60	ラグランスリーブのコートの縫製
※ロックミシン講習会(90分) →夏季休暇中(時間外)			
【成績評価方法】 作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守) 指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。			
【教科書・参考書】 『ジャケット』『コート』『テーラリング』上田安子服飾専門学校 最新版 ・教員作成のオリジナルプリント			
【教材・教具】 ミシン等縫製機器 洋裁道具一式 実物又は部分縫いの見本			

科目名	ゴシック&ロリータファッション商品製作 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	江田 泉

【科目の到達目標】

実物製作により、デザイン・パターンメイキングを含めた総合的な服作りを習得する。
また産業界の制約を知り、ゴシック&ロリータファッションの商品企画全般の仕事を実践し習得する。

【科目の概要】

ゴシック&ロリータファッションの実物製作によりデザインから縫製技術までの一貫した知識と技術を学ぶ。
トータルコーディネート提案出来る形で商品を製作し発表する。

【授業計画】

90分/コマ

パニエ

- 1 パターン作成
- 2 裁断
- 3～7 縫製(レース装飾)
- 8 仕上げ

コルセット(カップなし)

- 9 パターン作成
- 10 裁断
- 11～15 縫製
- 16 仕上げ

ワンピース

- 17・18 デザイン出し・パターン作成・縫製仕様書作成
- 19・20 トワール組み立て
- 21・22 トワールチェック・補正・工業用パターン作成
- 23・24 裁断・芯貼り・テープ貼り
- 25～29 縫製
- 30 発表・提出

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
『スカート、ブラウス、ワンピース、パンツ、ジャケット、テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校 最新版
・教員作成オリジナルプリント

【教材・教具】

ミシン等縫製機器・洋裁用具一式
実物または部分縫いの見本など

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80%
時間数	90	作成者	酒井知可子
【科目の到達目標】 レディースウェアの基本アイテムであるシャツ、パンツにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。また、創作作品ではコースの特色を活かしたデザインで効率の良い縫製を考えて製作する。			
【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。 企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。			
【授業計画】			
90分/コマ	前期	後期	
1・2	シャツの製図	31	創作作品（又は上田学園コレクション作品）の製図
3・4	シャツの裁断、芯貼り	32	
5・6	シャツの縫製	33	創作作品 トワール仮縫い
7・8	シャツの縫製	34	
9・10	シャツの縫製	35	創作作品 裁断
11・12	シャツ 仕上げ 提出	36	
13・14	パンツの仮縫い準備・仮縫い	37	創作作品 縫製
15・16	パンツの仮縫い・補正	38	↓
17・18	パンツのパターン展開・仮縫い	39	↓
19・20	パンツパターン作成	40	↓
21・22	パンツの裁断・縫製	41	↓（上田学園コレクション作品仕上げ）
23・24	パンツの縫製	42	↓
25・26	パンツの縫製	43	↓
27・28	パンツの縫製、仕上げ	44	↓
29・30	提出	45	提出
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 『ブラウス』『パンツ』 配布プリント			
【教材・教具】 筆記用具・洋裁道具一式・製図用具一式			

科目名	パターンメイキングⅡ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習 80%
時間数	120	作成者	大沢 妙
【科目の到達目標】 理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる			
【科目の概要】 時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	
1	(1/2)バギー・ベルボトム	31	(1/2)身頃続きの袖(マチ)三角マチ、ひし形マチ、五角マチ
2	(1/2)ペグトップパンツ・フレアーパンツ	32	(1/2)どれか1型トワール組み
3	スラックスパターン作成(自分サイズ)	33	ビーチウェア
4	デザインパンツ 製図	34	トワール組(中縫いミシン)補正後、工業パターン作り
5	トワール組み(両身) グループ検討会	35	スカートのバリエーション 作図
6		36	
7	ダーツ操作のバリエーション ウエスト2型	37	トワール組み
8	センター・ゴージ・ショルダー・アームホール	38	
9	襟のバリエーション スタンドカラー2種 シャツ・台襟シャツ フラットカラー・ステンカラー	39	工業パターン作成・仕様書作成
10		40	
11		41	身幅の移動OP増量→JK、COへ キモノ袖原型→カット無しへ(どちらかトワール検討)
12		42	
13	袖山高さのバリエーション 作図+トワール	43	メンズシャツ 製図
14	袖山高さのバリエーション 検討会	44	パーツパターン抜き出し
15	タック・フレアー・ランタン	45	トワール組み
16	ペタル・ジゴ	46	
17	BLOUSE(PaulSmith) 製図	47	子供服 子供ワンピース
18		48	トワール組み
19	BLOUSE(PaulSmith) トワール組み	49	ジーンズ 製図
20		50	パーツパターン抜き出し
21	創作ブラウス 製図	51	トワール組み
22	ダーツ操作身頃+襟+袖 組み合わせ	52	
23	トワール組	53	工業パターン作成・仕様書作成
24		54	
25	工業パターン、仕様書作成	55	マウンテンパーカー
26		56	
27	Tシャツ 製図	57	トワール組み
28	縫い代付きパターン・仕様書作成	58	
29	BEACH WEAR 製図+抜き出しパターン	59	まとめ
30	まとめ	60	
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』 山路俊美『メンズ製図集抜粋』 配布プリント			
【教材・教具】 筆記用具、製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ トワール、シルクピン、ミシン用具、鋏			

	ドレーピング I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	上田安子パターンチーム

【科目の到達目標】

ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。

【科目の概要】

立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期
1、2	「ドレーピング概論」 ・ボディ、トワールの扱い方の講義
3、4	ショルダーカット(ダーツ)
5、6	アームホールカット(ダーツ)
7、8	サイドカット(ダーツ)
9、10	ウエストカット(ダーツ)
11	ステンカラー カットで作った身頃を使用
12	ピーターパンカラー カットで作った身頃を使用
13	台襟付きシャツカラー カットで作った身頃を使用
14	開襟シャツカラー カットで作った身頃を使用
15、16	身頃の復習(ダーツ)
17、18	ブラウス シャツカラー(ショルダー切替)
19、20	シャツカラー(上記のジャケット)
21、22	一枚袖(上記のジャケット)
23	タイトスカート
24	タイトスカートのパターンどり
25、26	フレアースカートの製作
27、28	まとめ
29、30	前期試験

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%

【教科書・参考書】

オリジナルプリント

【教材・教具】

トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ゴシック＆ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大槻 剛
【科目の到達目標】 半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。			
【科目の概要】 アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。			
【授業計画】 90分/コマ		前期 後期	
1	ヌードボディの表現	16	画材表現(ガッシュ)
2	ヌードボディの表現	17	画材表現
3	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	18	画材表現(マーカー)
4	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	19	画材表現
5	着装表現 ①(男性的ディテール表現)	20	画材表現(パステル)
6	着装表現 ①(男性的ディテール表現)	21	画材表現
7	着装表現 ②(女性的ディテール表現)	22	アイテム画の表現(ボトムス)
8	着装表現 ②(女性的ディテール表現)	23	アイテム画の表現
9	着装表現 ③(その他応用表現)	24	アイテム画の表現(トップス)
10	着装表現 ③(その他応用表現)	25	アイテム画の表現
11	デザイン画選手権の作品制作(ラフ)	26	メンズ表現
12	デザイン画選手権の作品制作(下絵)	27	メンズ表現
13	デザイン画選手権の作品制作(下絵)	28	キッズ表現
14	デザイン画選手権の作品制作(着色)	29	キッズ表現
15	デザイン画選手権の作品制作(着色)	30	期末テスト
【成績評価方法】 課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%			
【教科書・参考書】 立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年 NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA			
【教材・教具】 ケント紙、ドローイングペン、着色画材など			

科目名	ゴシック&ロリータファッション論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義50% 実習50%
時間数	30	作成者	山本廣道

【科目の到達目標】

ゴシック&ロリータを理解するための基礎知識を習得する。また美術、文学、音楽、映画、建築などの関連性を理解し、多面的視点から、今後のゴシック&ロリータの方向性を示唆する。

【科目の概要】

「ゴシック&ロリータ」の起源を理解するため18世紀のロココ、新古典、ロマン(ネオロココ)時代とイギリス産業革命期におけるビクトリア女王とゴシックリバイバルの関係性を考察する。また日本の70年代以降レディスKAWAIIファッションの確立期、ディズニープリンセス系、フォークロア、エスニック、ボヘミアン、ゴスロリ、森ガールの大きな流れを捉える。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 オリエンテーション「ゴシック&ロリータMyイメージマップ」作成
- 2 イメージマップ完成&プレゼン発表
- 3 フランスのロココ、新古典、ロマン(ネオロココ)の概要
- 4 現在の末裔:ディズニープリンセス系とシンデレラ城、原宿サブカルとロリータ
- 5 イギリス産業革命とビクトリア女王統治時代のゴシックリバイバルの概要
- 6 コルセットの歴史
- 7 ロンドンパンク、ネオゴシック、ニューロマンティック、ヴィジュアル系、ダークファンタジー
- 8 テスト:現在の末裔:ヴィヴィアンパンク、アレキサンダーマックイーン、ガレスピュウ
- 9 日本でのゴシック&ロリータ、KAWAIIの展開①70年代MILK大川ひとみ、PINKHOUSE金子功
- 10 日本でのゴシック&ロリータ、KAWAIIの展開②70年代KENZO高田賢三とフォークロア、ボヘミアン
- 11 日本でのゴシック&ロリータ、KAWAIIの展開③70年代アイドルとセーラー服カルチャー
- 12 日本でのゴシック&ロリータ、KAWAIIの展開④70年代大阪万博コンパニオンとCA制服の黄金期
- 13 日本でのゴシック&ロリータ、KAWAIIの展開⑤80年代メイド服と日本型ヴィジュアル系
- 14 現状のゴシック&ロリータと今後の展開
- 15 テスト

【成績評価方法】

提出物25%+学期末試験25%+出席40%+授業態度10%

【教科書・参考書】

授業時にプリントや資料を配布 スタイリングブック WWD 他

【教材・教具】

筆記用具 着色用具 ファッション雑誌 他

科目名	ファッションデザイン論Ⅱ-C	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 35 % 実習 65 %
時間数	90	作成者	山本廣道

【科目の到達目標】

多様化するファッション業界の現状とマーケットのあり方を分析し、アパレル企画を立案する。
合わせて発想力・表現力・分析力・計画性などを修得する

【科目の概要】

1年次に学んだ基礎知識をもとに、新たな情報やトレンドなどをプラスして表現する

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	授業概要と企画立案の手順	31	オリジナルプリントのデザイン
2	プレタポルテのシャツデザイン	32	〃
3	〃	33	〃
4	シャツとセットアップしたパンツデザイン	34	〃
5	〃	35	デザイン発想①
6	〃	36	〃
7	コルセットのデザイン	37	〃
8	〃	38	プレゼンテーション
9	〃	39	プレタポルテ企画
10	アンダーウェアのデザイン	40	〃
11	〃	41	〃
12	〃	42	プレゼンテーション
13	創作衣装のデザイン	43	プレタポルテデザイン画
14	オリジナルブランドの設定	44	〃
15	〃	45	まとめ、テスト
16	〃		
17	〃		
18	〃		
19	〃		
20	〃		
21	〃		
22	〃		
23	ポートフォリオ、プレゼンテーション		
24	上田学園コレクションデザイン		
25	〃		
26	〃		
27	〃		
28	〃		
29	プレゼンテーション		
30	まとめ、テスト		

【成績評価方法】

課題 60% (小テスト含む) 試験 30% 出席 10%

【教科書・参考書】

スタイリングブック WWD 他

【教材・教具】

筆記用具 着色用具 ファッション雑誌 他

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ゴシック＆ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【科目の概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。
 講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、
 アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
 繊維・糸・布地
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 レース
 布地まとめ
- 7 ■家庭用品品質表示法 品質表示の見方
- 8 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 9 天然繊維(動物繊維)
- 10 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 11 化学繊維(合成繊維)
- 12 ■繊維の機能性
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 まとめ(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物評価40% テスト50%(期末試験40%, 小テスト 10%) 授業態度10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・田中道一、『生地の事典』,株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

- ・筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 90 % 実習 10 %
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学ん
ゆく。

90分/コマ		前期	後期
1	ガイダンス	【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化 古代ローマ～中世 ルネサンスと衣服 エリザベス1世の誕生 服飾トレンドの認知 マリーアントワネット：革命と失脚 19世紀ナポレオンとドレススタイルの変化 復習・まとめ オートクチュールの誕生 ベルエポックとレ・ザネ・フィル 世界恐慌とファッションの復興 19～20世紀 フランス：オートクチュールからプレタポルテ 19～20世紀 イタリア：GUCCIとハイブランドの変遷 19～20世紀 ロンドン：パンクムーブメント 19～20世紀 アメリカ：ヴィンテージファッションの特徴と判別 20世紀 日本国内のトレンド：DCブランド～KAWAIIカルチャー 総復習 テスト	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

教科書「西洋服飾史」

科目名	ファッションビジネス論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義70% 実習30%
時間数	30	作成者	中筋義純

【科目の到達目標】

- ・ファッションを通してビジネス(仕事)の流れを理解し知識や考え方の基礎を身につける。
- ・何故そうなのか、どうすればより良いか、という事を常に意識する習慣を身につける。
- ・ファッションをビジネス(儲ける為の方法)として捉えられる感覚を身につける。

【科目の概要】

- ・ファッション、アパレル業界の辿ってきた変化や仕組みと職種及び仕事の流れを理解し今後の展望について考える。
- ・利益の種類及び事業を持続する為に儲ける事の重要性をファッションビジネスに落とし込んで考える。
- ・ファッションビジネスにおけるブランドの意義と重要性を模擬ブランドを作る事によって理解する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 ファッションの魅力とファッションビジネスの現状についての講義
- 2 ファッションビジネスの変化、SPAの出現についての講義
- 3 アパレル企業のビジネスの仕組みについての講義①
- 4 アパレル企業のビジネスの仕組みについての講義②
- 5 アパレル企業のビジネスの仕組みについての講義③
- 6 ファッションビジネスのマーケティングについての講義①
- 7 ファッションビジネスのマーケティングについての講義②
- 8 マーチャンダイジングについての講義①
- 9 マーチャンダイジングについての講義②
- 10 ブランド設立の為に企画書作成についての講義
- 11 ブランド設立の為に企画書作成の実習①
- 12 ブランド設立の為に企画書作成の実習②
- 13 ブランド設立の為に企画書作成の実習③
- 14 ブランド設立の企画書のプレゼンテーション
- 15 期末筆記試験

【成績評価方法】

- ・プレゼンテーション40% ・ 授業における評価30% ・ 期末試験30%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

ノート ・ 筆記用具

科目名	キャリアデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ゴシック&ロリータファッションコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

クリエイター学科が目指す卒業後の進路・就職先の獲得と卒業後のスキルアップの方法を修得。

【科目の概要】

アパレル業界を中心とした川上・川中・川下の理解と社会人としての基本マナーの習得、就職活動の方法や面接、グループディスカッションの技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 就職先となる業界の現状把握(A先生)
- 2 就職活動までに準備すべき内容(B先生)
- 3 ポートフォリオの制作方法(B先生)
- 4 企業分析の方法と対策(C先生)
- 5 インターンシップの活用方法(C先生)
- 6 エントリーシートの記入方法(C先生)
- 7 自己PRと志望動機のポイント(C先生)
- 8 個別面接対策(C先生)
- 9 グループディスカッション(C先生)
- 10 卒業後のスキルアップ(C先生)
- 11 社会人マナー①(D先生)
- 12 社会人マナー②(D先生)
- 13 社会人マナー③(D先生)
- 14 社会人マナー④(D先生)
- 15 キャリアサポートセンターの活用方法(A先生)

【成績評価方法】

提出物評価90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

「キャリアテキスト」株式会社パーソナルヴィジョン研究所

【教材・教具】

筆記用具、参考プリント